



なすびの花

棚の上の荷物と地震

月に一度工場パトロールをしていきますが、工場や倉庫などの棚の上に、よく物が置かれていました。

日々の業務が忙しく、また整理に困り、棚にちょっと置いた荷物がそのままどんどん増えてしまった結果かと思えます。

片付けても、またしばらくすると置かれていているという状態が長く続いていて、多忙な事情も考慮しながら、たまに指摘し、

「長い目で確認していきます。すぐにはなくても良いですし、少しずつ片付けてください。」

と伝えていきましたが、本社工場・倉庫で、昨年末にすべての棚の上がキレイに片付けられていました。

また、今後も置かれることのないように、「棚上の物置禁止」と書かれた表示札も設置してくださっていました。

棚の上は、ちょうど良い具合に空いているので、つい物を置いてしまいがちです。ですが、棚の上に物が置いてあると、色々な場面で危険です。



本社工場内の棚 一例



下ろそうとして、下からは見えていない、更に上に乗った何かが頭上に落ちてきたり、地震などの振動で落下したりといったことが考えられます。

今年の2月13日に、また福島県沖を震源地とする大きな地震が起こりましたが、私たちもいつまた大きな地震に見舞われるか分かりません。

地震の度に、地震発生時の映像がテレビで流れますが、今この周辺で大きな地震が発生してしまうと、テレビの映像のように、工場内の棚は倒壊し、業務中であらば、多くのけが人を生んでしまう可能性もあります。

建物内、工場内の設備は、地震に備えた配置になっているか、棚の高さは適切なものか、また、業務中に大きな地震に遭遇した時に、私たちはまず何をしなければならぬのかを、あらかじめ確認しておく必要がありますね。

皆さまも日ごろから「あの辺は危ないのでは？」などと感じておられることがありましたら、課長や総務課に伝えていただければと思います。

また、こういった事象をご自宅で置き換えて考えていただける機会になれば嬉しいです。

自然災害をテーマにした工場パトロールは、近いうちに実施を予定しています。

無知は罪

社会人になりたての新人教育の時に、入社した企業の偉い人が、「無知は罪なんですよ!」と言っておられました。

かの有名な哲学者・ソクラテスの名言ですね。

『無知は罪なり、知は空虚なり、英知持つもの英雄なり』

前出の偉い人は、

「学生の間は『知らなかった』で済みますが、社会人になると『知らなかった』では通りません。責任ある行動をとりなさい。」

と続けて言われました。

その頃は、その言葉の深い意味もよくわからないまま聞いていましたが、本当に勉強不足とは怖いもので、知らず知らずのうちに、法を犯している事があるかも知れません。

自分では気づかないことで、他者に迷惑をかけた、傷つけたりしているかも知れません。

誰もが安易に、インターネット上で調べたり、繋がったりできる状況で、発信したものが、一瞬で世界中に拡散してしまう現在は、特に注意する必要があります。

家を建てる時、人は、“建築法に違反しないか?”などといった事をまず考えます。

社内でも、新しい案件が始まる時には、『3H (初めて・変更・久しぶり) 案件』として、リスクを予測したり、準備物や担当者を決めたりします。

同様に、何かを始める時には、様々なリスクを考えて予測し、準備し、危険を回避することが、本当に大切です。